

2026年4月14日

在宅酸素療法パスの運用実態から導く新規パス作成

◆研究の目的と概要◆

過去の診療録を確認し、在宅酸素療法の指導がどのように行われていたかを調べます。得られた情報をもとに、指導内容を見直し、新しいクリニカルパス作成に役立てます。

◆対象となる患者さん◆

2024年1月から、2024年12月までの間に、在宅酸素療法指導パスを適応し、在宅酸素療法を導入された患者さん。

◆研究に使用される情報・試料◆

主疾患、入院目的、入院日、入院した曜日、入院日数、パス導入・終了時期、パス適応前日までの入院日数、退院日までの差、適応終了から退院までの差、入院経路、検査の有無、HOT導入歴の有無、バリエーション内容、退院が遅延した要因

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

3棟 12階 研究責任者 土倉 悠莉

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明